

関常幸議会報告

第66号
2024.1

発行責任者

南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



寒中お見舞い申し上げます

能登半島地震で亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。被災から一か月が過ぎようとしています。孤立は解消したと言われているようですが、山合いの集落の電気は水道は、十分な水や食料がいきわたっているのだろうか・・・。

輪島市、珠洲市の中学生が集団避難。祖父母が心配と残る中学生。クラスメイトが離ればなれ・・・勉強はどうするんだろう・・・と、考えればきりが無い。

震災発生から3時間、南魚沼市から「緊急消防援助隊」として第1次隊が出動した。第2次、第3次・・・と続いている。今後は、水道・下水道係や建設、保健師等が応援に！ 先日(1/14)JAアグリパーク前で能登半島地震募金(社会福祉協議会)に大勢の皆さまからご寄付いただきました。ありがとうございました。できる支援をいたしましょう。一日でも早い復旧・復興を願ってやみません。

市制20周年の今年、11月1日に「やまと地域包括医療センター」が発足する。まさに人生100年時代をにらんだ、新たな医療のスタート。

やまと地域包括医療センターは①ゆきぐに大和診療所(外来機能はそのまま、入院は市民病院に)②ゆきぐに大和訪問看護ステーション(24時間体制)③ゆきぐに大和ホームケアステーションを有し、新たな地域医療のモデルとなる取り組みが始まる。

やまと地域包括医療センターの中核となる診療所は、当面は現在の場所ですが、早い時期に新築移転。場所については現在未定。

人口53,324人、世帯20,312戸。20年間で人口は約1万人減、世帯数は2万戸増。南魚沼市は、医療の再編(医師不足、健友館、やまと診療所等)統合給食センター、新ごみ処理施設、老朽化した市庁舎、学区再編、道の駅、雪資源、コシヒカリの聖地、介護士不足等々上げたらきりが無いほどの課題がある。

この南魚沼市のかじ取り役・リーダーを決める市長選挙が11月にある。リーダーは「夢・将来を語る」「人にやさしい」人を選ぼう。そして、地域の活力とまちづくりの拠点として、「地域づくり協議会」の果たす役割はますます重要。

今年は辰年。十二支の中で「龍」だけが架空の動物。

「龍」は、天と地の守り神であり、農業に恵の雨をもたらす。そして、弱気を助け、強気(横暴)をくじく。昔から、毘沙門様の山門を通ると邪気が払われ、身体(心)健全になると言われている。

谷文晁が描いた双竜図。薄くなり平成8年に日本画家永森一郎氏が加筆。毘沙門堂山門天井の双竜図の一つ。



12月定例議会 (12月4日～15日)

12月定例議会は清塚新議長の下での初議会。長い歴史の中で予備日を使用しての審議は初めて。

14日の議案13件中、指定管理に関する議案9件全てに反対する〇〇議員。反対してもいいけど代案は・・・！！



清塚武敏 議長

林市長 所信表明



- ・医療のまちづくり拡大市民会議を開催。
- ・魚沼圏域で唯一の回復期リハビリテーション病棟。
- ・市独自施策「高校生・大学生等保護者生活支援給付金」(1人3万円) 2月29日まで受け付け。
- ・児童減少で石打保育園と上関保育園、令和7年4月1日統合目指す。
- ・大和庁舎2階に「子供・若者相談支援センター」分室設置。
- ・新ごみ処理施設建設については、三集落の協議会役員の皆さんと先進地視察等を実施し着実に進んでいる。
- ・交通事故は前年を大幅に上回り、10/25二人の方が亡くなる痛ましい事故発生。お二人のご冥福を祈る。
- ・水道料金9月から改定。口径別を適用。混乱なく移行が完了。
 - ・2年目となった「里山再生整備事業」好評。12件、23ha。
 - ・9年目の「本気井」。バージョンアップ「秋マジ」「冬マジ」。
- ・坂戸市と「大規模災害時における避難に関する応援協定」締結
 - ・「書かない・待たない・来ない窓口」の検討。
 - ・昨年を上回る「ふるさと納税」に感謝

★ゆきぐに大和病院、11月1日から診療所に

(清塚武敏議長の「市政だより」第42号1.14発行に「診療所化する理由が2ページにわたり掲載されています。熟読を)

<今後の医療体制とスケジュール(予定)>R5年11月27日、議会全員協議会資料より

- ① 12月議会で「診療所への条例改正」と「予算の補正」
- ② R6年2月 訪問看護ステーションの設置に関する届け出
- ③ R6年3月31日 大和病院「朝診療」終了。夕診については徐々に縮小予定。
- ④ R6年4月1日 ゆきぐに大和訪問看護ステーション設置。
在宅機能を強化するために新規に設置。ゆきぐに大和病院の入院機能を徐々に縮小し、人員の配置転換により機能充実。
- ⑤ R6年4月1日 市民病院の病床機能の転換
一般病床を24床減らし、回復期病床28床の増床を目指すなど大和地域の入院患者受け入れ態勢の整備を開始。
- ⑥ R6年4月 市民病院の増床を関係機関と調整。
後山・辻又の診療 ～ 市民病院での対応に移行
- ⑦ R6年11月1日 やまと地域包括医療センター運営開始
 - ★ゆきぐに大和診療所(外来は現在と同) ★ゆきぐに大和訪問看護ステーション
 - ★ゆきぐに大和ホームケアステーション (24時間体制)

主な活動フォト



10.20 八海山尊神社
大火渡り大祭



10.21 浦佐小学校創立150周年記念式典
学習発表会、ホテルオカベ祝賀会開催。
150周年記念事業実行委員長を務める。



10.22 憲法改正講演会
会場：市民会館 250人
講師：杉田水脈代議士



10.22 「小さな祭り」
毎月第4日曜日
びしゃもん通りで開催。



10.31~11.12
第38回魚沼菊花展浦佐菊祭り



11.11~12 浦佐駅にて
魚沼ほろ酔いまつり 入場者8千人



11.23 白山神社新嘗祭
今年の豊作に感謝し新穀を奉納



11.26 羽賀幸子さん受勲祝賀会
モンゴル国ナイラムダル友好勲章受賞



12.6 中国駐新潟総領事
市長・議長 表敬訪問



12.22 市長のざっくばらん
ゆきぐに大和病院の診療
所化について話し合う。



1.8 浦佐地区「賽の神まつり」
無病息災を願う。神事の後点火



1.14 新潟春節祭（県民会館大ホール）
中国山東省青島市文化芸術団

主な活動日誌

★「那覇市・石垣市」へ 日本会議新潟県市町村議員連盟研修会(11月14日～16日)

沖縄は 41 市町村からなり人口 147 万人。54 の指定離島他多数の島々。その海域は本州の 3 分の 2 に当たる。

米軍基地（施設、軍人数）の 7 割が沖縄にあり、日本国民の安全安心を沖縄県が担っていると言っても過言でない。台湾有事（中国の台湾侵攻）は、米中の対立を激化し、沖縄のみならず日本有事そのもの・・・。

<那覇市> 県庁所在地 人口 317 千人。

- ・研修 1 那覇市役所で「危機管理体制」について
- ・研修 2 国民保護の現実と課題～ 3 市議会と沖縄政策研究フォーラム理事長から報告
航空自衛隊のスクランブル、日本を滅ぼす平和ボケ、尖閣有事の住民避難等

<石垣市> 人口 47 千人 那覇市から 400 km。台湾まで 270 km。尖閣諸島含む。

- ・研修 1 石垣海上保安部 花角知事と一緒に勤務したというトップの方が対応。
～全国で最大規模の海上保安部 尖閣諸島での中国船との軋轢等々
- ・研修 2 石垣駐屯地 高田陸上自衛隊に 8 年勤務したというトップの方が対応。
～昨年 4 月に開設。誘致反対市民多数の中、市民・議会は誘致を選択。
- ・研修 3 石垣市中山市長を表敬訪問～首長の強いリーダーシップに触れる。



石垣駐屯地（新潟出身 4 名と）



石垣市役所（長岡市役所と同じ隈研吾設計）

★田中角栄逝去30年を偲ぶ会及び日中関係シンポジウム(12月16日)

県知事、新潟市長をはじめ、県内外各界から 250 名が朱鷺メッセに林市長も出席。

中国大使は「井戸を掘った人を忘れない」と中国のことわざを引用し、田中角栄氏の功績をたたえる挨拶を。

日本、中国の識者 9 名がシンポジウムで講演。

「日中友好」こそ、日本の最大の安全保障の一つだ。日本は米国寄りの外交でなく、米国ともつき合う、中国ともつき合う、これが日本の進む道。台湾有事は無いと田中眞紀子氏。

経済・軍事力でも米国を抜く中国。日本の国益のためには！考えさせられたシンポジウム。

「裸押合大祭」通常で実施 3月2日開催



羽賀謙一氏写真



編集後記

魚沼に春を呼ぶ「裸押合」が帰って来る。祭りを指揮する最高幹部は二名。歴史ある大祭を次世代に引き継ぐと、その意気に感激。みんなが応援している。三月二日裸になろう。